

思い出す人々



西山 厚 全24回

第17回 【どこかの】

ずっと前のことなので、正確には覚えていないが、新聞の俳句の欄にこんな句が紹介されていた。確か、七歳くらいの女の子の作品だったと思う。

空豆を空にかざして食べてみる

いいなあ。空豆は大好きで、どんなふうにして食べてもおいしいが、やっぱり塩ゆでが一番だ。でも空にかざして食べたことはなかった。それから、時々、こっそり空にかざして食べたりもする。

こちらは七十歳くらいのおばあちゃんの作品だったと思う。

深緑に吸い込まれそう吸い返す

いいなあ。深緑に吸い込まれそう、と口にする人は少なくないが、吸い返すとは！ 最高だ。それ以来、深緑を見るたびにこの句を思い出す。向こうもこっちも命みなぎる深緑の季節。

私は俳句を作らないし、生活のなかに俳句があるわけでもないが、五七五にしてみるだけで、簡単に世界とつながり、ひとつになれるのがおもしろい。言葉の魔法。この女の子、おばあちゃん、どうしてるかな。

(注) 広辞苑に「深緑」は濃いみどりいろ。ふかいみどりとありますが、歳時記には「新緑」「若葉」「青葉」等が記載されております。